

財務 R4 Ver.22.10 対応一覧

No.	処理名	対応内容	対象システム	問題が発生するバージョン
1	仕訳入力	<p>【現象】仕訳入力を貸借タイプに設定している時に、金額入力中に[BackSpace]キーを押すと、金額の1文字削除とならずに金額すべて消えてしまう。</p> <p>【発生条件】財務会計R4で貸借タイプ（部門と消費税が借貸両方にある入力タイプ）で入力している場合</p> <p>【対応内容】金額入力中の動作を1文字削除になるように修正しました。</p>	IKX財務会計	15.2以降
2	個別元帳	<p>【現象】数字確定月設定で期末月が「未定」となっているのに、個別元帳で13月を指定すると、「指定された月は決算が完了しています」のメッセージが表示されてしまう。</p> <p>【発生条件】                      当期：数字確定月設定で「期末」以外の全ての月が確定、「期末」が未定となっており、個別元帳の期間に「期末」を指定した場合                      翌期：数字確定月設定で「翌3カ月目」以外の全ての翌期の月が確定、「翌3カ月目」が未定となっており、個別元帳の期間に「翌3カ月目」を指定した場合</p> <p>【対応内容】正しく判定するように修正しました。</p>	全システム	初版 14.10以降
3	入金伝票 出金伝票	<p>【現象】入金伝票／出金伝票の「伝票呼出」で伝票日付、伝票番号で呼出すると「アプリケーションでエラーが発生しました。」のエラーメッセージが表示される。（エラー表示後に「OK」ボタンを押して伝票データの登録は可能）</p> <p>【対応内容】エラーメッセージが表示されないように修正しました。</p>	全システム	21.40
4	振替伝票入力	<p>【現象】入力開始月を期末月としている場合に、振替伝票入力で期末月の仕訳を入力すると、消費税率の参照窓に3%しか表示されない。</p> <p>【対応内容】入力された取引日付に対応する税率が表示されるように修正しました。</p>	全システム	初版 14.10以降
5	日計表	<p>【現象】日計表で指定した期間によって「仮受消費税」または「仮払消費税」の前日残高に差異が発生することがある。（例：4/21～4/21で指定した前日残高と、4/21～5/20で指定した前日残高の金額が異なる）</p> <p>【発生条件】指定した期間の最初の月に該当仕訳（「仮受消費税」または「仮払消費税」の仕訳）がなく、かつ、その後の月度に仕訳がある場合</p> <p>【対応内容】正しい金額が出力されるように修正しました。</p>	全システム	初版 14.10以降
6	日計表	<p>【現象】試算表では仮払消費税残高が「0」と正しいが、日計表では仮払消費税残高がマイナス表示になり正しくない。</p> <p>【発生条件】13月（決算整理月）の決算日が末日でない場合</p> <p>【対応内容】正しい金額が出力されるように修正しました。</p>	全システム	初版 14.10以降
7	残高一覧表	<p>【現象】「帳票」-「残高一覧表」で、「補助残高一覧表」を「年間推移」で出力した場合に、補助科目コードを5桁以上設定しているが4桁までしか出力されない。</p> <p>【対応内容】補助科目コード5桁以上が出力されるように修正しました。</p>	全システム	初版 14.10以降
8	消費税 申告書・付表の印刷	<p>【現象】消費税申告書（一般課税）を「伝票集計しない」で作成後に、消費税計算書を実行すると、第一表の参考事項にある控除対象仕入税額の計算方法の判定が変わってしまっている。                      （例：申告書(付表)・納付書を伝票集計「しない」で作成する。印刷画面で「全額控除」に○が付いていることを確認した後、消費税計算書を開き、再度申告書を開きなおすと、「個別対応内容方式」に○が付いている）</p> <p>【対応内容】一般課税の場合に、条件画面の「控除対象仕入税額計算方法(個別対応方式 or 一括比例配分方式)」は、「消費税計算書」と「申告書・付表の印刷」のそれぞれで選択した状態が保持されるように修正しました。</p>	IKX財務会計 Professional Basic Premium Lite+ Weplat工事台帳	初版 14.10以降
9	消費税 申告書・付表の印刷 (国税納付書)	<p>【現象】環境設定で「和暦/西暦の選択」を「西暦」にしていると、国税納付書のプレビューの「納期等の区分」の年が西暦の下2桁で表示される。（例：2021年の場合、「21年」のように下2桁が表示）                      和暦の項目ため、2021年の場合は「03年」と表示されるのが正しい。</p> <p>【対応内容】和暦で表示されるように修正しました。</p>	IKX財務会計 Professional Basic Premium Lite+ Weplat工事台帳	20.15以降

No.	処理名	対応内容	対象システム	問題が発生するバージョン
10	3期比較月別推移図表	<p>【現象】「分析」-「3期比較月別推移図表」で、前期・前々期の平均値の分母が、設立日を考慮したヶ月になっていない。設立日からの日数は関係なく12カ月固定で割ってしまっている。</p> <p>【発生条件】前期、前々期に設立年月日がある場合</p> <p>【対応内容】前期・前々期の平均値を求める場合、設立年月日を考慮するように修正しました。</p>	IKX財務会計 Professional Basic Premium Lite+ Weplat工事台帳	初版 14.10以降
11	総合比較損益計算書	<p>【現象】20日締め会社など月度テーブルが末日締めでない場合に、「分析」-「総合比較損益計算書」を印刷すると、集計は正しくされているが、表示日付（自／至）が正しくない。</p> <p>【対応内容】正しい日付で表示されるように修正しました。</p>	IKX財務会計 Professional Premium	初版 14.10以降
12	会計期間の変更	<p>【現象】「会計期間外の仕訳が入力されているため、変更できません。」と誤ったメッセージが表示され会計期間を変更できない。 （例 変更前：令和3年1月1日～令和3年12月31日 変更後：令和2年10月1日～令和3年9月30日 で、令和3年12月31日に仕訳が入っているケース。 令和3年12月31日は、変更後の会計期間の翌3カ月内のため、本来は変更対象）</p> <p>【発生条件】会計期間（新）の決算終了日が2月／4月／6月／9月／11月の末日で、その3ヵ月後から末日の仕訳が存在する場合</p> <p>【対応内容】上記の条件のときに会計期間を変更できるように修正しました。</p>	財務応援R4 Lite for IKX以外のシステム	20.15以降
13	仕訳データ取込	<p>【現象】「連動」-「仕訳データ取込」で、科目マスターに存在しない科目を取り込もうとすると、「データの形式が不正のため、処理できません。」となり外部仕訳転記エラーリストが表示されてこない。 Ver.21.10では、外部仕訳転記エラーリストが表示されていた。</p> <p>【対応内容】外部仕訳転記エラーリストが表示されるように修正しました。</p>	全システム	21.20以降
14	バックアップ/リストア	<p>【現象】財務R4の会社データのリストアで、リストア先に会社パスワードが設定された上書きされるデータがあるときに、会社パスワード入力画面が出ずに上書きされる。</p> <p>【発生条件】上書き対象のデータに会社パスワードが設定されていた場合で、かつ、ネットワーク版のクライアントPCからサーバー接続でリストアを行った場合</p> <p>【対応内容】会社パスワード入力画面を表示するように修正しました。</p>	全システム	初版 14.10以降

2022年3月14日  
セイコーエプソン株式会社